湯沢砂防事務所
報道発表資料

平成 19 年 6 月 27 日
取扱：資料の配付をもって解禁

破間川流域に隣接する五十嵐川上流大倉沢における河道閉塞のヘリによる現地調査を実施

湯沢砂防事務所管内の破間川流域に隣接する五十嵐川上流大倉沢で、河道閉塞があるとの情報を新潟県より得たため、本日（平成１９年６月２７日）午後、湯沢砂防事務所において、破間川流域の状況をヘリにより調査するとともに、大倉沢の河道閉塞状況を確認しました。

調査結果

破間川流域については、特に大きな新規崩壊は見あたらなかった。

五十嵐川上流大倉沢については、大倉沢の右岸斜面の上部において崩壊があり、谷地形を流下し、大倉沢を閉塞させている状況が確認された。上流は湛水しており、流水が堆積土砂の表面を流下している。なお、崩壊斜面に残っている樹木は葉が繁っている状態であった。崩壊の状況は別添写真のとおり。

問い合わせ先
北陸地方整備局 湯沢砂防事務所　TEL 025-784-2263（代表）
調査課長　小竹　利明　内線 351

湯沢砂防ホームページでもご覧いただけます。
URL http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/

（別添写真）大倉沢河道閉塞状況全景